

台風21号、胆振東部地震の傷跡

脅威を知った今、新たな備えを

北

北海道を立て続けに襲った二つの自然災害。本町では、幸いにして人的被害は発生していませんが、道路、建物、農作物などに被害が発生しました。特に胆振東部地震直後は、本町においても全面復旧する

までに相当の時間を要し、食材等の供給や交通などのライフラインが乱れました。その間、停電地域に住む方を対象に炊き出し、携帯電話充電場所の提供、改善センターの夜間開館、あいくる「ふれあいの湯」の無料開放などの対応を行なったほか、町内の様々な企業・

団体等から食材や機械の提供をいただくなど、支援の輪が広がりました。

今なお余震の恐れや厳しい電力需給など、予断を許さない状況は続いています。今後さらに大きな規模の災害が起きた時には、公助の機能に限界を来すとも言われます。大規模災害の時にあなたを救うのは「備え」です。自然災害は人の力では食い止められません。最悪の事態を想定し、最善の

対策をとることは可能です。自然災害の脅威を身を持って知った今、次に起こりうる災害への備えに向けて、私たちは一歩ずつ、歩み出さなければなりません。



▲倒木被害の状況
(上：柳陽公園 下：ぼろろ裏庭)

家庭でもご準備を！

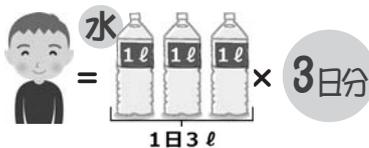
復旧までを支える 非常備蓄品

大規模災害時には、1週間分の備蓄が望ましいとされています

食品 缶詰、レトルト食品、ドライフーズ、栄養補助食品、調味料 など



水 飲料水(大人1人あたり1日3ℓ)
※最低でも3日分は必ず準備を



燃料その他 石油ストーブ、灯油、毛布、寝袋、卓上コンロ、ガスボンベ、カイロ、簡易トイレ、トイレットペーパー、ドライシャンプー、自転車 など



停電発生中、改善センターでは炊き出し(おにぎり、トウモロコシ、ミニトマト)の配布が行われました。

【台風21号】南幌町の主な被害状況等

項目	状況
台風の勢力	警報 9/4 18:34 暴風警報発令
	9/5 00:17 大雨警報発令
	最大瞬間風速 9/5 03:10 28.3%
	総雨量 13.5mm
人的被害	なし
停電被害	世帯数 950戸
道路被害	倒木などにより一部通行止め
倒木被害	公園・街路 約280本
	防風保安林 約230本
農業被害	農作物の倒伏や農業施設の倒壊及び一部が破損

【胆振東部地震】南幌町の主な対応状況等

日時	状況
9/6 03:07	胆振地方中東部を震源とする地震発生 南幌町で震度5弱を観測 南幌町災害対策本部を設置、各対策班において情報収集、道路・公共施設の被害状況確認、要支援者等の安否確認を開始
03:30頃	北海道全域で停電
04:00	長幌第2浄水場給水区域で断水
08:50	スポーツセンター駐車場に給水場を開設
11:00	役場駐車場に携帯電話充電場所を設置
12:00	上水道復旧
13:43	一部地域の電力復旧(約1,400戸停電)
15:00	役場駐車場で戸別受信機用乾電池配布 □役場を除く全ての公共施設を閉館 □保育園、幼稚園、小・中学校、高校、養護学校が休校(休園) □江別市が停電のため下水道処理停止 □路線バス、町内巡回バス運休 □農家地域ごみ収集中止
9/7 15:00	改善センター開放(停電地域居住者対象)
16:00	あいくる「ふれあいの湯」無料開放(〃)
18:00	改善センターで炊き出しの配布(〃)
23:00	一部地域の電力復旧(約200戸停電) □公共施設の一部を閉館 □保育園、幼稚園、小・中学校、高校、養護学校が休校(休園) □路線バス、町内巡回バス運休 □農家地域・稲穂の粗大ごみ収集中止
9/8 03:15	一部地域の電力復旧(約30戸停電)
08:00	改善センターで炊き出しの配布
11:00	あいくる「ふれあいの湯」無料開放
12:36	全戸の電力復旧



▲支援を受ける人々
(上：給水場 下：ふれあいの湯)

「いざ」という時に備えて

最初に持ち出す 非常持出品

家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所にひとまとめに保管しましょう。

懐中電灯

できれば1人ひとつ
予備の電池と電球も
忘れずに

救急医療品

傷薬、絆創膏、解熱剤、
かぜ薬、胃腸薬、
目薬など

携帯ラジオ

軽くてAM・FM両方が
聞けるもの
手回し充電のものが便利

非常食・水

カンパン、缶詰、水など
※火を通さなくて良いもの
※乳幼児がいるなら粉ミルク

貴重品

現金、預貯金通帳、印鑑、
健康保険証・住民票コピー
など

こんな物も便利

ヘルメット、タオル、軍手、
紙の食器、ライター、缶切、
栓抜き、ナイフ、ビニール袋、
生理用品、紙おむつ など

戸別受信機の設置はお済みですか？

災害時や警報発令時などに、町民に生命を守る行動を促す手段として、防災行政無線を運用しています。平成28年度には、各家庭等への「戸別受信機」の無償貸与を開始し、現在の設置率は全世帯の89%に上ります。今回は、改めて防災行政無線システムの概要と、その重要性についてお知らせします。



①役場庁舎内に設置されている親局。子局や中継局、家庭等に設置された戸別受信機に情報を発信します。
②子局や中継局は、町内の全地域に情報を届けられるよう7カ所に設置されています。
③戸別受信機は、屋内で放送を聞くための機器で、録音機能も搭載しています。



⚠ 戸別受信機の必要性とは？

防災行政無線システムは、日常の行政情報や非常時の緊急情報等を音声やサイレンで人々に伝えるシステムです。

今回の震災のように、長時間にわたる停電が発生した時には、テレビや携帯電話などの情報収集手段が失われるため、防災行政無線システムが重要となります。

情報を正しくかつ確実に伝えるためにも、町では各家庭での「戸別受信機」の設置を推奨します。



Q どんな内容が放送されるの？

●定時放送

行政情報のほかに、防災・安全に関する情報、おくやみのお知らせなどが放送されます。また、毎日午後5時には南幌町歌のメロディーが流れます。

●臨時放送

災害やライフラインに関する情報で、緊急を要するときに放送されます。

●全国瞬時警報システム(Jアラート)による放送

Jアラートは、規模の大きい災害や武力攻撃などの重大な緊急情報を、国が直接、該当地域の防災無線を起動し放送するシステムです。

防災

防犯

健康

イベント



Q 停電しても使えるの？

親局や子局、中継局はすべて無線によって制御されていて、停電時には内蔵バッテリーでの運用に切り替わるので回線断等の心配はいりません。また、「戸別受信機」には非常用電源として乾電池を内蔵していて、停電時には自動的に切り替わります。



「乾電池ランプ」
乾電池で稼働しているとき（コンセント抜けや停電時など）に赤色に点灯する。点滅は電池消耗のサイン。

「ACランプ」
緑色に点灯しているのが正常。



電池交換のフタは正面下側にあります。フタの中心を押しながら下方向にスライドさせて開けます。



乾電池の交換を忘れずにお願いします！

乾電池が消耗していると、いざという時に使用できません。今回の停電により、大幅に消耗していることが考えられるほか、停電が起きていなくても年に1度は乾電池を交換（単1型：2本）してください。

※交換に要する乾電池は、個人で負担いただいています。

※交換の際は、必ず電源スイッチを「切」にし、交換後は必ず電源コードを接続し、スイッチを「入」に戻してください。



Q 設置するにはどうすればいい？

戸別受信機を設置するには、申請書の提出が必要です。役場のまちづくり課企画情報Gにご連絡いただくか、直接窓口にお越しください。（印鑑をご持参ください）

なお、設置の際は業者が家庭にお伺いします。申請書を提出いただいた後、設置日の調整をさせていただきます。設置にかかる時間は30分ほどです。

【まちづくり課企画情報G】 ☎ 378~2121

身を守るために積極的に情報を集めましょう！

災害時は、防災行政無線システムからだけでなく、町の公式ホームページ、facebookなどからも情報を得ることができます。より速く正しい情報を得ることができるよう、自分から積極的に情報収集を行いましょう。



南幌町ホームページ

南幌町ホームページでは、災害時に緊急情報ページを開設し、最新の情報を随時発信します。無線放送と並行して更新されるので、聞き逃した情報をお早く得るのにも最適です。



南幌町facebook

南幌町facebookの公式ページでも、災害時には重要な情報を発信していきます。また、普段から町のPRや耳寄りなイベント情報を更新していますのでご覧ください。

